

【自由意見の内容】

(調査票回収期間 平成29年12月1日～12月8日)

景況調査票の自由意見欄に269通の貴重なご意見をいただきました。
ご多用中にもかかわらずご記入をいただき、感謝申し上げます。

分類項目	意見数
1. 経済・景気動向	83
2. 業界の動向	67
3. 顧客・得意先	45
4. 為替	11
5. 金融・資金繰り	20
6. 売上・収益	64
7. 物価変動	7
8. 消費税	26
9. 人材の確保・育成	60
10. その他	18
計 (複数回答)	401

以下に、それぞれの特徴的な意見を掲載させていただきます。
なお、掲載にあたり、若干の加筆・修正を加えています。

1. 経済・景気動向について

- 企業格差が増大している。(繊維工業)
- 大手の業績は好調と報じられているが、中小企業には景気の回復感がない。(はん用機械製造業)
- 景気の方行が分からず、受注が増えない。(理化学・光学機器製造業)

- 先行き不透明で厳しい状況が続いている。(発電・送電・配電用機器製造業)
- 努力はしているが結果がなかなか良くならない。(婦人・子供服卸売業)
- 長いスパン(10年くらい)でみれば全ての状況は繰り返しなので、10年耐える力があれば問題ないと考えている。(靴・履物卸売業)
- 景気が良いといわれても実感が無い。(男子服小売業)
- 近年の気候変動、景気の足踏みにより、依然として厳しい状態。(靴・履物小売業)
- 景気が良いという実感はなく、むしろ消費者は買い控えの方向。今後厳しくなると思う。(自転車小売業)
- 景気の上向きを感じられない。(機械修理業)
- 景気が良くなっているのかが分からない。(美容業)

2. 業界の動向について

- 消費者の購買力が低く、企業業績は下がる一方である。(ニット製衣服製造業)
- 年々市場が小さくなっている。(製本・印刷物加工業)
- 消費の低価格志向が続き、価格が上げられない。(なめし革・革製材料製造業)
- 職人の高齢化や事業承継がうまくいかず廃業に追い込まれることが見込まれ、ものづくりの難しい時代に入った感がある。(鉄鋼・非鉄金属製造業)
- ホテル建設ラッシュも東京オリンピック後の反動に懸念がある。(照明・電子応用装置製造業)
- 大型店の進出による地元業者への圧迫の結果、小売店が減少し、大きな負担となっている。(野菜・果実卸売業)
- オリンピック後の景気の後退が心配される。建設のピークがオリンピックでその先に需要があるかを考えると心配である。(セメント・板ガラス卸売業)
- 技術進展と共に業界地図の大変化も予想され、今後10～15年の見通しが極めて不透明。(鉄鋼・石油・鉱物卸売業)
- 回復のきざしが全く見えてこない。(書籍・雑誌小売業)

- AI技術の登場で業界の動向が大きく変化していくのではと考えており、今後の流れを注視したい。(映像・音声制作業)
- 求人供給バランスが悪い。(職業紹介業)

3. 顧客・得意先について

- 得意先からの仕事が少なく、今までの価格では受注できない。(製版業)
- 海外企業に価格面で仕事をとられてしまうケースがあり、これらに対応する方策がない。(窯業・土石製品製造業)
- 得意先が忙しくなり受注が増しているが、長年協力してくれた外注先が事業を閉鎖することになり困っている。(ばね・その他金属製品製造業)
- 得意先の不調により、売上見込は悪い。(酒類・飲料卸売業)
- 小規模事業者への仕事が少ない。(塗料卸売業)
- 個人消費が低迷している。(呉服・服地・寝具小売業)
- 高齢化により、若年層顧客が少ない。(男子服小売業)
- インターネットの発展によって生き残りが難しい。顧客確保をする対策が分からない。(婦人服小売業)
- 実用品でほどほどの質の品物を求める消費者が増えている気がする。(靴・履物小売業)
- 物流費の値上げによりインターネット販売へ移行する傾向があり、今後小売販売の減少が見込まれる。(花・植木小売業)
- 得意先の動きが遅くなかなか売上が上がらない。(機械設計業)

4. 為替について

- 消費も伸びず、為替の円安傾向によってコストアップになっている。(革製履物・革製品製造業)
- 中国から輸入品が多いため、為替の動きが心配だ。(男子服小売業)
- 石油原油価格及び為替相場が直接製品に影響するので為替動向は常に注視している。(燃料小売業)

5. 金融・資金繰りについて

- 資金繰りが厳しい。(情報通信機器製造業)
- 新商品の開発や海外輸出等で資金が必要であるが、現在保証枠がいっぱいの為、資金繰りが難しい。(化粧品卸売業)
- 売上の状況が悪くなく、資金繰りが大変だ。(燃料小売業)
- 売上の回収が予定どおりではなく、資金繰りに苦労している。(書籍・雑誌小売業)
- 安定的な売上が確保できず見通しが立たない。受注しても原価割れの結果、一年中資金繰りに苦労している。(建築設計業)

6. 売上・収益について

- 小売店の売れ行きが悪く、苦戦が続いている。(装身具・装飾品製造業)
- 新規発注がなく先行きがまったく見えない。(金型製造業)
- 輸出に力を入れ売上の向上を図りたい。(医療用機器製造業)
- 売上の割に利益が減少している。(医療用機器製造業)
- 少しずつ改善しているが力強さがない。来年に期待している。(情報通信機器製造業)
- 低価格の商品しか売れず、単価が低いいため、売上・利益が減少。(婦人・子供服卸売業)
- 年末で売上は徐々に上向いているが収益が悪い。値上げの話も出てきているので来年が心配である。(セメント・板ガラス卸売業)
- 個人消費が伸びず、特に地方の取引先(卸売先)において厳しい状況が続いている。(家具・建具卸売業)
- 東京オリンピックの特需がなかなか目に見えない。売上が低迷して不安だ。(ボルト・ナット・ねじ卸売業)
- 宝飾商品売上が非常に悪い。(ジュエリー製品小売業)
- 販売単価は変わらないが客数減少により売上・収益ともに良くない。消費者の購買意欲が今ひとつの状況が続いている。(各種食料品小売業)

- 原油値上げにより、仕入価格が値上げになり、特に収益が悪くなっている。
(燃料小売業)
- 売上が減少していて利益が伸びない。
(文房具・事務用品小売業)
- 今年は天候不順で景気が良くなかった。売上が思わしくない。
(自転車小売業)
- なかなか好転が見えない状況である。
(スポーツ用品小売業)
- 繁忙期に例年の忙しさが無い。景気の悪さを感じる。
(建物サービス業)
- 営業等、販売促進を実施して売上拡大を図る。
(スポーツ施設提供業)
- 天候不順により営業日数が減り、売上が減少した。
(スポーツ施設提供業)

7. 物価変動について

- 物流費や原材料費の上昇分を販売価格に転嫁することが難しい。
(紙製品製造業)
- 原材料について中国からの輸入割合が多く、今後も値上がり傾向が続くと思われ不安である。
(その他の食料品製造業)

8. 消費税について

- 増税はやめてほしい。
(事務・サービス機器製造業)
- 消費税の増税が不安の種だ。
(茶・のり・乾物卸売業)
- 消費税の増税により、売上減少と顧客減少になる。
(リネンサプライ業)
- 消費税が10%に上昇した場合には経営悪化とともに、同一賃金あっても結果的に賃金の低下感による消費の低迷につながるのではないか。
(建物サービス業)
- 減税するべき。
(不動産取引業)

9. 人材の確保・育成について

- アパレル企業は毎年9～11月は厳しい月になる。今後人材の確保は特に難しい状況に追い込まれそうだ。
(繊維工業)
- 新規募集をかけるが全く採用までいかない。
(印刷業)

- 定年退職が毎年数名続き、求人募集をしても人材確保が難しい。また入社しても数か月で退職し長続きする者がいないので社員が育成できない。
(印刷業)
- 人材の確保が難しい。また外注先の倒産や人手不足により、以前のような生産能力がなくなってきている。
(金属素形材製品製造業)
- 求人は6か月間応募がなく、人手不足のため先行きが不安。
(金属被覆・熱処理業)
- 求人倍率が高まっているため、人手不足感がある。
(産業用機械製造業)
- 経験者の確保が大変難しく、新規、未経験者を確保するも教育指導する者の人材不足のため成長が遅れている。将来、ものづくり産業の能力レベル低下が心配だ。
(はん用機械製造業)
- ハローワークに募集を出しても応募が全くない。現在民間業者に応募があるのを待っている状況。
(装身具・身の回り品卸売業)
- 人手は足りているが、質の部分ではまだまだな所がある。人材を見極めて、さらなる確保、育成を進めていく。
(食肉卸売業)
- 人材確保ができなくなりつつあるため、社内育成に重点を入れる。
(セメント・板ガラス卸売業)
- 育成に時間がかかり即収入に結びつかない結果、若者の技能者が少なくなり後継者不足となっている。
(婦人服小売業)
- 人材が不足している。
(道路貨物運送業)
- 高齢化が進んでいる。
(職業紹介業)
- 最低賃金の上昇が経営に響いている。
(宿泊業)

10. その他

- 事業承継に関わる費用が膨大で対応に苦慮している。
(電気計測器製造業)
- 後継者の不在により、今後を模索中である。
(理容業)